



印象的な見た目にしたという思いとメンテナンスのしやすさも合わせて、外壁は汚れが目立たないようなグレージュや茶色をセレクト。



自宅の隣に設けたご夫婦の仕事スペース。



玄関から入って左側が自宅、右側が店舗。



左ノスケルトンの階段やアイアンの手すりは、ご夫婦のこだわり。吹き抜けのリビングは家族の憩いの場所。

下ノ1階、2階ともに浮づくりのフローリングで、「裸足でも気持ちよくて経年変化も楽しみです」とご夫婦。家具は最低限の数を配置して、広々としたスペースを確保。



エコで快適な暮らしが
家族をやさしく包む

日田市 堤邸

茶色とグレージュのツートンカラーとキューブ型が、お洒落な世界観を描く堤邸。LDKへと足を踏み入れると、印象的なのは肌触りの良い浮づくりの床。吹き抜けの広い開口部からは光が差し込み、清々しいリビングが迎えてくれます。ともに日田市が地元で、すぐ近くのアパートに住んでいたご夫婦は、自営業でテナント代と自宅の家賃をまとめたかったこともあり、店舗兼のマイホームを考えたとそう。「浮づくりの床や吹き抜けが気に入って『RTTIO』の『VALO』に決めました」とご主人。また、自由度のある規格住宅というコンセプトもご夫婦の思いに合致。天領本が提案する「住宅グリーン化事業」による補助金が申請できたことも魅力に感じたと語ります。

仕事と子育てを両立している奥様が希望したのが、洗濯物の室内干しができるフリースペース。階段を上がってすぐの場所に設けて、子どもたちの遊び場にもなるなど、自由度の高い空間として活躍しています。高機密・高断熱・高耐震構造のスーパーウォール工法を採用して、9kmの太陽光を搭載したゼロエネ住宅でもあり、「エアコン一台で夏も冬も十分です。電気代と家賃を合わせても、以前より随分と節約できています」と快適な暮らしを語ってくれました。